

気候情報

2015年6月の日本の天候

- 九州南部では、記録的に降水量が多く、日照時間がかなり少なかった
- 西日本では低温で、西日本太平洋側では日照時間はかなり少なく降水量は多かった
- 沖縄・奄美では、記録的な高温で、日照時間はかなり多く、降水量は少なかった

6月の天気概況

梅雨前線が西日本の南岸から東日本の南海上に停滞することが多かった。特に、前線が停滞しやすかった九州南部では、月降水量が平年比227%となり、6月としては最も降水量が多く（統計開始は1946年）、月間日照時間はかなり少なかった。一方、東北地方の梅雨入りは平年よりかなり遅く、東北部では26日ごろ（1951年以降、遅い方からの1位タイ）となった（速報値）。一方、太平洋高気圧の日本の南から沖縄付近への張り出しが強かったことにより、沖縄・奄美の月平均気温は平年比+1.8℃と、6月としては最も高温となった。また、月間日照時間はかなり多く、月降水量は少なかった。

上旬：梅雨前線が西日本の南岸から東日本の南海上に停滞することが多く、西日本では降水量もかなり多かった。特に前線に近かった九州南部では、旬降水量が平年比316%となり、6月上旬の降水量の多い方から1位となった（統計開始は1961年）。北・東日本では、前線が数日の周期で太平洋岸に北上したため、天気は数日の周期で変化し、太平洋側では大雨となった所があった。旬平均気温は、沖縄・奄美ではかなり高く、北・東日本では平年並、西日本では低かった。旬降水量は、北日本日本海側、東日本太平洋側、西日本ではかなり多く、北日本太平洋側、東日本日本海側では多かった。沖縄・奄美では少なかった。旬間日照時間は、北日本日本海側、西日本では少なく、北日本太平洋側、東日本では平年並、沖縄・奄美では多かった。

中旬：梅雨前線が西日本の南岸から東日本の南海上に停滞することが多かった。特に、九州南部では、上旬に引き続き降水量がかなり多かった。沖縄・奄美では、勢力の強い太平洋高気圧に覆われて晴れて高温の状態が続き、沖縄地方では、平年よりかなり早い11日ごろに梅雨明けした（速報値）。また、沖縄・奄美の旬平均気温は平年比+2.4℃と、6月中旬として最も高温となった。旬平均気温は、沖縄・奄美ではかなり高く、北・東日本で高かった。一方、西日本では低かった。旬降水量は、北日本ではかなり少なく、東日本日本海側、沖縄・奄美で少なかった。西日本太平洋側で多く、東日本太平洋側、西日本日本海側では平年並だった。旬間日照時間は、西日本でかなり少なく、東日本太平洋側で少なかった。一方、沖縄・奄美でかなり多く、北日本日本海側で多かった。北日本太平洋側、東日本日本海側では平年並だった。

下旬：旬のはじめは、梅雨前線が沖縄付近から本州の南海上に南下する一方、本州上空には寒気が流れ込

んだ。このため、全国的に曇りや雨の所が多く、局地的に雷を伴った激しい雨となった。旬の中頃は、梅雨前線が東・西日本付近へ北上し活動が活発になり、その後も西日本の南岸から東日本の南海上に停滞した。また、26日から28日は低気圧が日本海をゆっくり東進した。このため、西日本と奄美地方を中心に大雨となった。旬平均気温は、沖縄・奄美でかなり高く、西日本で低かった。北・東日本では平年並だった。旬降水量は、北日本、沖縄・奄美で多く、東日本、西日本日本海側で少なかった。西日本太平洋側では平年並だった。旬間日照時間は、北日本日本海側でかなり少なく、北日本太平洋側、沖縄・奄美で少なかった。一方、東日本で多く、西日本では平年並だった。

6月の気候統計

月平均気温：沖縄・奄美でかなり高かった。北・東日本では平年並だった。西日本では低かった。

月降水量：北日本、西日本太平洋側で多かった。東日本太平洋側、西日本日本海側では平年並だった。東日本日本海側、沖縄・奄美で少なかった。

月間日照時間：沖縄・奄美ではかなり多く、東日本日本海側で多かった。北・東日本太平洋側では平年並だった。西日本太平洋側でかなり少なく、北日本日本海側、西日本日本海側で少なかった。

（気象庁観測部情報管理室）

6月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温高い方から（℃）
与那国島 29.1 西表島 29.4 など5地点
- ・月降水量多い方から（mm）
鹿児島 1300.5 都城 1094.5 など5地点

2015年6月の平年差（比）図

